

京都芸術劇場ニュースレター



春秋座・studio21 おかげさまで15周年
特別記念号

特集

- 京都芸術劇場 15周年記念特集
春秋座の15年を振り返る —2P
15年を彩った人たちI —3P
- Team 申 番外公演IV
男たちの棲家
〜ドッコイ!俺たちはここに居る〜 —4P
- 琉球舞踊と組踊 春秋座特別公演 —4P
- 涼風真世 & 京フィル
ドリームコンサート in 春秋座 —5P
- 新作ダンス公演
笠井勲×山田せつ子「燃え上がる耳」 —5P
- アーティスト・学生・地域の方で創る演劇公演
藤田貴大演出作品「A-S」 —5P

回顧と展望のとき—京都芸術劇場 15周年に寄せて—

大学への通勤は市バスの3系統が多いのですが、乗り合わせたご婦人方が春秋座の公演を話題にしていることがよくあります。そのたびに春秋座がすっかり地域に定着している印象を受けるのですが、春秋座はいまや京都だけでなく、全国的な知名度をもつてにいたっているように思います。その春秋座と併設の studio21 が「大学の劇場」として瓜生山に誕生したのが平成13年、同時に「京都芸術劇場」もこの大小2つの劇場の総称として生まれたのでした。春秋座は同劇場の初代芸術監督の三代目市川猿之助氏(現猿翁文)の設計になり、春秋座という名称も猿翁氏の命名で、『史記』の「春秋に富めり」と、猿翁氏の祖父である二代目猿之助主権の劇団名に由来することは、すでに周知のことかと思えます。また、studio21 は映像・舞台芸術学科長で、本センターの所長代行だった劇作家であり演出家であった太田吾吾氏の命名です。もちろん、平成13年が2001年だったことによっています。爾来15年、これまでは年間の公演数があまり多くない時期もあったと聞いていますが、近年は京都芸術劇場の運営を担当しているわれわれ舞台芸術研究センターも大忙しの状況が続いています。

この節目の年にあたり、本誌はこの15年、京都芸術劇場を彩った舞台や人々について、3回にわたり紹介してゆくこととしました。それは同時に、これからの15年あるいは30年の展望にもつながるものとなるはずで

春秋座の15年を振り返る

今年、京都芸術劇場（春秋座・studio21）は、15周年を迎えます。当劇場は2001年に京都造形芸術大学内に開設された、わが国の高等教育機関でははじめて実現した大学運営による本格的な劇場です。建設時から企画運営室長として活躍し、現・顧問プロデューサーとして様々な企画を行う橘市郎に、芸術劇場ができるまでの軌跡を聞きました。

大学に劇場を建てるというのは、猿翁（三代目猿之助）さんと前理事長（徳山詳直）の長年の夢でした。というのも大学開校時に行われていた猿翁さん率いる澤瀉一門の歌舞伎集中授業は大変な人気で、最終日には衣裳と鬘を付けた発表会も行われていました。「これを劇場でやったら学生が喜ぶだろうし、大学の中に劇場があるというのは素晴らしいだろう。学生に本物を観せたい」というのがお二人の夢で、京都芸術劇場は、三代目と前理事長の相思相愛が形となって誕生した劇場でした。

劇場運営に関しては「教育目的」「研究の場」「社会貢献」という三本柱がありますが、大きなコンセプトとしては猿翁さんの「お客様を大事にする」という精神でした。「豪華なシャンデリアも絨毯もいらない。その分、日頃、お客様が不便に思っているところをなるべく無くし、機能優先の劇場にしたい」という猿翁さんの提案で女性トイレの数を多くし、客席の幅を広くして交互に配しました。

楽屋に関しても「最小限、化粧をする場所があればいい。もし、オーケストラや合唱団が来て部屋数が足りなかったら教室を空けてもらえばいい」「役者は足腰を鍛えなくてはいけないから楽屋にエレベーターはいらない。もし作るお金があるなら舞台の機構にお金をかけてほしい」と、とにかく「楽屋はホテルじゃないんだから」とおっしゃっていました。

学生も劇場作りに参加しました。そのメインは緞帳。前理事長の「染織コースの学生が作ってみては」という提案で作ることになりました。ですが学生も先生も緞帳なんか作ったことがないですから川島織物へ行って、伝統工芸士さんに指導を受けながら作りました。テーマは「自然」。学生それぞれがデザインを描いて、それをつなぎ合わせて一枚の緞帳にしました。緞帳を吊り上げる時には「吊上げ式」を行い、そして「ゆくゆく記念になるように緞帳制作に関わった学生の名前を書いてロビーへ飾ってほしい」という前理事長の提案で、参加学生の名前を書いた額をロビーに飾っています。

また劇場ができた後も「自分たちの劇場は自分たちが守るという意識がないと愛情を持ってない」と、社会貢献目的のひとつとしてフロントスタッフを学生が行っています。立ち振る舞いなどの教育を受け、先輩が後輩を指導するなどして、現在も劇場スタッフとして学生が活躍しています。

春秋座はオペラと歌舞伎ができる珍しい劇場ですし、京都芸術劇場ではアカデミックで実験的な公演と一般の方々に楽しんでもらえる公演の両方があります。そういった劇場はなかなかありませんし、大学にとっても京都にとっても大切な文化財であると思います。これから大切に守ってほしいですね。

談：橘市郎（春秋座顧問プロデューサー）

【年表】柿落し公演までの軌跡

- 1999年11月 人間館 地鎮祭（起工式）
- 2000年4月 大劇場を「春秋座」、小劇場を「studio21」と命名。
 - 5月 記者会見を猿之助（現・猿翁）氏も出席し行う。
 - 7月 福知山の工場で行い舞台のテストを行う。
- 2001年1月 学生による緞帳制作が始まる。
 - 3月 舞台安全祈願を行う。
報道各社を呼んで劇場内覧会を行い、猿之助（現・猿翁）氏自ら舞台機構を説明。
 - 4月 京都造形芸術大学舞台芸術研究センター発足（所長＝芳賀徹、所長代行＝太田省吾）。studio21 オープニング記念連続公演はじまる。
能『邯鄲』・上方唄『柱立』、地歌『万歳』・能『邯鄲』・地歌『珠取海女』
演劇『更地』（韓国版）、シンポジウム『21世紀の舞台芸術と劇場—日本と韓国の視点から』、ダンス『羽化の理由』、春秋座緞帳吊り上げ式、映像・舞台芸術学科学学生企画公演『CAST-A-NET』
 - 5月 春秋座柿落し公演『春秋三番叟』『日本振袖始』。



四代目市川猿之助（現・春秋座芸術監督）による扁額。春秋座の名は、前理事長をはじめ太田省吾さんや観世榮夫さんなど10数人で相談。最終的には猿之助さんが『史記』の中から取った。



学生が織り上げた緞帳のパーツ。一度、写真に撮って配置を決めた。



猿翁氏の提案で広々と取られた客席。



前理事長の意向で木をふんだんに取り入れている。



客席案内係のスタッフを指導する橘。

15年を彩った人たち



2001年5月の柿落とし公演から様々な方が京都芸術劇場 春秋座、studio21で公演を行ってきました。今回より3回シリーズで懐かしい舞台写真と共に振り返ります。

2001年—2005年



出演：三代目市川猿之助さん 2001

「春秋座」柿落とし公演『日本振袖始』

お客様を楽しませることに、いつも心血を注ぎ込んでいた三代目市川猿之助さん。春秋座柿落としの「日本振袖始」で見た坂東玉三郎さんとの競演は迫りに満ちた凄まじいものでした。芝居の話をしだしたら何時間でも止まらない情熱。そして、どんな難問に対しても瞬時に回答を下す決断の速さ。決して忘れられません。

——— 橋市郎 (春秋座顧問プロデューサー)



出演：茂山千作さん・千之丞さん 2002

『唐相撲』

「唐相撲」は唐王に奉仕していた日本人の相撲取りが帰国することになり、名残の相撲で多くの下官や王までも負かしてしまう、やや対外意識が感じられる狂言の稀曲。登場人物は通常30人だが、この時は茂山一門総出の40人。中央の王は四世千作さん、千之丞さんも柱の脇にみえる。背景や空中の官人はもちろん春秋座版。

——— 天野文雄 (舞台芸術研究センター所長)



出演：観世榮夫さん
『門-gate』

授業中、榮夫先生が「では、ひとサン」と言って配布用資料のプリントをくるくる丸めて右手にクシャと握り舞ったことがあった。「え！そんなんでいいの？そんなことしていいの!？」というのがその時の感想で、この驚きと興奮は、先生の経歴を知る度、舞台上の姿を見る度に繰り返された。

——— 枅谷雄一郎 (卒業生、舞台芸術学科事務担当)

2003



出演：井上八千代さん 2001~
日本芸能史

京都造形芸術大学教授でもある京舞井上流家元・井上八千代さんには、studio21のこけら落とし公演『万歳』『珠取海女』をはじめ、劇場創立時からたびたびご出演いただいております。今年15年目を迎える公開連続講座「日本芸能史」では毎年講師を勤めていただいております。写真は、同講座でご息女の安寿子さん(右)と、舞っていただいた時のもの。毎回、実演やワークショップが盛り込まれた贅沢なプログラムで、京舞の魅力、芸能の魅力を教えてください。 ——— 田口章子 (主任研究員)



出演：笠井叡さん 2003

『独舞 花粉革命』

ソロダンス『花粉革命』を、驚くことに長唄『京鹿子娘道成寺』を生演奏、着物、鬘姿で踊られた。途中、鬘は宙に舞い、ノイズ音楽が重なり、春秋座はカオスに満ち満ちて行った。実験的などというコトバは粉々になっていき、笑も悲しみも渦をまいて、踊ることの原点が見えてくる舞台だった。面白くして踊る~ウズメというコトバを思いだしていた。 ——— 山田せつ子 (主任研究員)



演出：太田省吾さん 2005

「聞こえる、あなた? - fuga#3」

太田さんは、亡くなるその日まで、〈映像・舞台芸術学科〉と〈舞台芸術研究センター〉の「屋台骨」だった。現代演劇史に輝やかない足跡を残した作家・太田省吾は、まさにこの劇場で、若い学生たちの表現に、快活に眼を細め、厳しい背中を見せつけていたのだ。たぶん彼らの背後に、演劇の「未来」を見ずえながら。

——— 森山直人 (主任研究員)

Team申 番外公演IV

男たちの棲家～ドッコイ!俺たちはここに居る～

5月20日(金) 18:30、21日(土) 13:00/17:00、22日(日) 13:00

◎公演情報の詳細はスケジュール一覧をご覧ください。

京都芸術劇場の開場 15 周年を記念する芸術監督プログラムの第1弾!



2013年 チーム申公演より

Photo: 濱屋純一

地元京都での待望の舞台出演となる**佐々木蔵之介**、スーパー歌舞伎Ⅱ「ワンピース」の大ヒットも記憶に新しい春秋座芸術監督・**市川猿之助**、テレビ・映画・舞台で引っ張りだこの**佐藤隆太**、3人の申(猿)たちが、踊りあり芝居ありトークイベントありの楽しい舞台をお贈りします。

脚本・演出は、番外公演の構成・演出を行ってきたフジテレビドラマプロデューサーでもある長部聡介。

どんな舞台を魅せてくれるのか! どうぞめいっぱいお楽しみ下さい!!

琉球舞踊と組踊 春秋座特別公演

くみおどり

6月5日(日) 14:00

◎公演情報の詳細はスケジュール一覧をご覧ください。

春秋座ですっかり馴染みとなった琉球舞踊と組踊公演。今年も人間国宝の宮城能鳳・西江喜春の両氏をお迎えし上演いたします。

組踊「銘苺子」の見どころ

組踊の創始者、玉城朝薫(1684～1734)の作品の中から、今回ご紹介する「銘苺子」は、まさに組踊特有のテーマを基に創られた作品といえます。現代の観客にも大きな感銘を与える親子の深い情愛を描きつつも、王府が関わる終盤の筋立ては、組踊ならではの構成といえるでしょう。組踊は、国家の一大イベントである国賓歓待の席で上演されることから、国家の運営方針を盛り込みつつも、独自の芸能文化として煌びやかに創り上げられました。小国ならではの琉球の先人たちのしたたかさ、また清らかさなど、何かしら感じていただければ幸いです。

天女が子供達と別れ昇天する場面や、母親を探しさまよい歩く姉弟のシーンは見どころとなりますが、立方は極力動かず、荘重な琉球古典音楽の占める比重が大きいため、演者の実力が問われます。今回は立方・地謡ともに、重鎮から新進気鋭の演者まで、大変豪華な顔ぶれが揃いました。琉球の国劇として誕生した組踊の魅力を存分に披露し、きっと観客を魅了する舞台となることでしょう。

国立劇場おきなわ芸術監督 嘉数道彦

- 第一部 琉球舞踊 老人踊「かぎやで風」、女踊「天川」、雑踊「加那よー」、二才踊「高平良万歳」、雑踊「谷茶前」
- 第二部 組踊 『銘苺子』



「銘苺子」写真: 国立劇場おきなわ

◎公開レクチャー
「羽衣伝説」それぞれの描き方からみえてくるもの～能・歌舞伎・組踊～
4月21日(木) 16:00 京都造形芸術大学一般教室 定員50名
講師: 嘉数道彦、天野文雄(舞台芸術研究センター所長、能楽研究)
田口章子(京都造形芸術大学教授、歌舞伎研究)

◎琉球舞踊体験ワークショップ

6月4日(土) 14:00 京都造形芸術大学内楽屋 定員30名
琉球芸能の次世代を担う若手出演者(立方・地謡)による舞踊・楽器・紅型衣装のご紹介と、舞踊ワークショップ。

※いずれも参加費無料、要事前申込み
お申込み先: 京都芸術劇場チケットセンター Tel.075-791-8240 (平日10時-17時)

涼風真世 & 京フィル ドリームコンサート in 春秋座

4月23日(土) 14:30

●公演情報の詳細はスケジュール一覧をご覧ください。



—昨年大好評だった「涼風真世 & 京フィル ドリームコンサート in 春秋座」の第2弾です。

元宝塚トップスターで今やミュージカル界で大活躍の涼風真世が、京フィルと再びタッグを組み春秋座へ帰ってきます。

宝塚ナンバーはもちろん秀作ミュージカルの名曲を選びすぐっておおくりするファン待望のステージ。

芸能生活 35 周年の涼風真世が開場 15 周年を迎える春秋座で、ダブル周年を記念して集大成のドリームコンサートをお届けします。

《主な曲目》

At The Grand Hotel

(「グランドホテル」より)

我が名はオスカル

(「ベルサイユのばら」より)

悪魔の涙

(「天使の微笑・悪魔の涙」より)

100万のキャンドル

(「マリー・アントワネット」より)

ほか

※曲目は変更となる場合がございます。

新作ダンス公演

笠井勲×山田せつ子「燃え上がる耳」

7月2日(土)、3日(日) 15:00

●公演情報の詳細はスケジュール一覧をご覧ください。

2015年に春秋座でも上演された笠井勲構成・振付『今晩は荒れ模様』では、山田せつ子はじめ日本を代表する6人の女性ダンサーと笠井勲が出演し、その圧倒的なダンス力で、観客を魅了しました。京都芸術劇場開場15周年の今年、笠井勲構成・振付による新作ダンスを、山田せつ子・笠井勲を中心に関西の女性ダンサー4名と、ここ、京都で、クリエイションをします。

◎笠井勲ダンスワークショップ 5月8日(日) 14:00～16:00

会場：京都芸術劇場 春秋座 ※ダンス経験者・未経験者定員20名
お申込み先：京都芸術劇場チケットセンター(平日10-17時) Tel.075-791-8240

◎公開対談 笠井勲×渡邊守章(演出家、仏文学研究)

5月15日(日) 15:00～16:00

会場・お申込み先：京都芸術センター Tel. 075-213-1000 (4月20日(水) 受付開始)

構成・振付—— 笠井勲

出演—— 山田せつ子 佐伯有香、野田まどか、福岡まな実、松尾恵美
笠井勲



アーティスト・学生・地域の方で創る演劇公演

藤田貴大演出作品「A-S」

7月30日(土) 13:00/19:00、31日(日) 13:00

●公演情報の詳細はスケジュール一覧をご覧ください。

公募で集まったシニア30名が出演した杉原邦生(KUNIO 主宰)演出による演じるシニア企画「レジェンド・オブ・LIVE」(2014年)、森山開次・ひびのこづえ・川瀬浩介によるダンス作品にオーディションで選ばれた小学生10名の出演シーンを新たに加えて上演した「LIVE BONE in 春秋座」(2015年)。そして一般参加型企画の第3弾として2016年7月、いま演劇界のみならず様々なシーンで注目を集めている演劇作家・藤田貴大(マームとジプシー主宰)による演出作品を上演します。5月にはオーディションで出演者が決定。出演以外のスタッフワークを担うプロジェクトメンバーも募集して、参加者の日常に寄り添った作品をワークショップと稽古を経て創り上げます。

※オーディション・プロジェクトメンバー募集締切：

4月30日(土)。詳細はHPをご確認下さい。



物言う踊りとしての組踊

一八世紀の琉球で、玉城朝薫が組踊を創案したとき、「踊りが物を言うそうだと巷で評判になったと伝えられている。それまで演劇的な構造をもった舞踊がなかったわけではないが、はじめて今日まで通用している喋る演劇のジャンルを打ち立てた。

朝薫が江戸へ出張したときに観た能に啓発されて着想したと伝えられているが、歌舞伎も影響しているだろう。能とは様式が離れすぎる。なにしろ夢幻能らしい影もない。壬生狂言も観たに違いないと私が（専門家に否定されながらも）疑っているのは、最初の作品である『執心鐘入』の三人の小僧どものモチーフがあまりによく似ているからである。

踊りに言葉を喋らせようと、玉城朝薫が考えたのは、能や歌舞伎、狂言の様式に啓発されてのことであるにせよ、

幼少のころから育った内発の思想をこの様式でなら表現できる、と発見したからであろう。

幼い頃に母に生き別れ、長じては名家の出である妻と離婚して身分の低い女と再婚した経歴から、女の性に深いこだわりをもっていたに違いない。これが内発の思想になったと、私は見る。作品が五曲あって、朝薫の五番と呼ばれるが、いずれも女の性を話の中心においている。最初の作品である『執心鐘入』では邪恋の女の嘆き、『二童敵討』では、親の仇を討ちにと旅立つ二人の息子を送る母、『女物狂』は、幼い子を誘拐された母が狂いつつ子を探し求める話、『孝行の巻』は、飢饉を契機とする親子の愛。『銘苺子』は羽衣伝説を下敷きにした母の嘆き。

朝薫以後は、近世期に書かれた数十篇の組踊のうち、人間の内面を言葉に

した作品は数えるほどしかなく、平成の創作まで待たなければならなかった。玉城朝薫が近代劇に直結していると言ってよい。古典のなかでひとり光りつつけているのは、「女」という人間の内面を語ることによって、現代に通じる物語をなしているからである。

大城立裕

作家・劇作家

沖縄に生まれる。元沖縄県立博物館長。上海の東亜同文書院大学中退。戦後公務員のかたわら文学にかかわり、1967年に『カクテル・パーティー』で第57回芥川賞。90年、紫綬褒章。『日の果てから』（93年、平林たい子賞）その他を『大城立裕全集』13巻に収める（02年）。「レールの向こう」で川端康成文学賞（15年）

2.5次元と異形のヒーロー

本年2～3月、宝塚大劇場で上演された『るろうに剣心』は、連日立見の出る大入りとなった。和月伸宏原作の漫画、涼風真世が主人公・緋村剣心の声を担当したアニメの舞台化といえ、いわゆる2.5次元ミュージカル*の一つと見ることもできるし、実際絵から抜け出たような人物達が登場する。しかし2.5次元なる言葉が流布する遙か昔の1974年、榛名由梨がオスカルを演じた『ベルサイユのばら』以来、漫画の舞台化は宝塚歌劇団のお家芸だし、近年は『逆転裁判』などゲームソフトのミュージカル化にも成功している。むしろ宝塚ファンは、描かれた絵が俳優の肉体を借りて立体化する「2.5次元感」に酔うというより、原作とタカラヅカの完璧な融合のもとに作り出された夢の世界の中で、お目当てのタカラジェンヌが思う様その魅力を発揮

するのを期待して劇場に通うのである。

ところで、『るろうに剣心』の脚本・演出は小池修一郎である。『エリザベート』『ロミオとジュリエット』など、宝塚の枠を超え、現代日本のミュージカルを代表する演出家であることは言うまでもない。『蒼いくちづけ』『薔薇の封印』はヴァンパイア、大劇場デビュー作『悪魔の微笑・天使の涙』と『エリザベート』の楽曲を最初に使った『ロスト・エンジェル』はメフィストフェレス、そして『エリザベート』のトートは死神と、小池作品には、一般の宝塚に対するイメージとは異なる異形の人物をヒーローにしたものが多い。ここに、102年の歴史を有する宝塚歌劇の幅広さ、奥深さを見て取ることができる。一昨年、22年ぶりに再演された『PUCK』などは、シェイクスピアの『夏の夜の夢』を、小池が見事に変

換したオリジナリティあふれる傑作だ。大きな耳にチリチリヘアー、ボーダーのシャツにオーバーオールを着て、ローラースケートで駆け回る妖精パックを、そしてメフィストフェレスを演じた涼風真世はまた、堂々たるオスカルも演じて見せた。それが宝塚歌劇なのである。

*2.5次元ミュージカル

2次元で描かれた漫画・アニメ・ゲームなどの世界を、舞台コンテンツとしてショー化したものの総称。（「一般社団法人日本2.5次元ミュージカル協会」より）

鈴木国男

共立女子大学文学部教授
イタリア演劇・歌劇研究

論文『「テニミュ」と『ベルばら』』『ユリイカ』（2015年4月臨時増刊号、青土社）、共著『ダンマツイオに夢中だった頃』（東京大学教養学部イタリア地中海研究コース「イタリア地中海研究叢書1」2015）、『宝塚という装置』（青弓社2009）

4

April 2016

□ コンサート/主催公演

23日(土) 14:30

◆ 春秋座

涼風真世 & 京フィル

ドリームコンサート in 春秋座

【発売中・全席指定】

一般 5500円 友の会 4500円 シニア 5000円

学生 & ユース席 2500円 (座席範囲指定)

※未就学児の入場はご遠慮ください。

※託児サービスあり(詳しくは劇場HPをご覧ください)

T-C OTS ぴあ e+ 新聞 生協

5

May 2016

□ 演劇/主催公演

20日(金) 18:30、21日(土) 13:00/17:00

◆ 春秋座

22日(日) 13:00

京都芸術劇場 春秋座 芸術監督プログラム

◎ 特集▶ P.04

Team申 番外公演IV 男たちの棲家

〜ドッコイ!俺たちはここに居る〜

【発売中・全席指定】

一般席は完売いたしました。

一般 ~~7500円~~ 友の会 ~~6500円~~ シニア ~~7000円~~

学生 & ユース席 3500円 (座席範囲指定)

※未就学児の入場はご遠慮ください。 ※託児サービスあり(詳しくは劇場HPをご覧ください)

T-C OTS 生協

※一般席の追加販売を行なう場合は4月1日(金)にHPにて販売日時をお知らせいたします。

6

June 2016

□ 古典/主催公演

5日(日) 14:00

◆ 春秋座

京都造形芸術大学舞台芸術研究センター・

公益財団法人国立劇場おきなわ運営財団

◎ 特集▶ P.04

琉球舞踊と組踊 春秋座特別公演

【発売中・全席指定】

一般 4000円 友の会 3200円 シニア 3500円

学生 & ユース 2000円 ※3歳以下のお子様の入場はご遠慮ください。

T-C OTS ぴあ 生協

□ 落語/主催公演

11日(土) 14:00

◆ 春秋座

桂米團治 春秋座特別公演

【発売中・全席指定】

一般 4000円 友の会 3000円

シニア 3500円

学生 & ユース席 2000円 (座席範囲指定)

※未就学児の入場はご遠慮ください。

T-C OTS ぴあ e+ 新聞 生協



日本芸能史

会場: 京都芸術劇場 春秋座 (京都造形芸術大学内)

毎回: 月曜日 16:30 ~ 17:50

前期 (全14回) 4月11日(月) ~ 7月18日(月) 受講料: 各期 14,000円

問い合わせ: 京都造形芸術大学 京都藝術学舎

〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山 2-116 人間館中 2階

Tel.075-791-9124 Fax.075-791-9021 (月~土曜: 10~16時)

T-C 京都芸術劇場チケットセンター

OTS 劇場オンラインチケットストア

ぴあ チケットぴあ http://t.pia.co.jp TEL.0570-02-9999

e+ イープラス http://eplus.jp

新聞 京都新聞文化センター (京都新聞社 1F) TEL.075-256-0007 (10-17時※土・日・祝除く)

生協 京都、滋賀各大学生協プレイガイド

KBS KBS 京都事業部 TEL.075-431-8300 (10-17時※土・日・祝除く)

*記載のないものについての開場は開演 30 分前

*特に標記のない場合、前売と当日は同じ料金 *ユースは 25 歳以下、シニアは 60 歳以上対象 (一部公演を除く) *学生・ユース・シニアは身分証明書提示

7

July 2016

□ ダンス/主催公演

2日(土)、3日(日) 15:00

◆ 春秋座 特設客席

新作ダンス公演

◎ 特集▶ P.05

笠井 勲 × 山田 せつ子 「燃え上がる耳」

【一般 4月20日(水) / 友の会 4月19日(火) 発売・整理番号付自由席】

※整理番号順に開演 10 分前より入場 (ロビー開場は開演 30 分前)

※当日券は各 +500 円

一般 3500円 友の会 3000円 シニア 3200円

学生 & ユース 2000円 ※3歳以下のお子様の入場はご遠慮ください。

T-C OTS ぴあ e+ 生協 JCDN ダンスリザーブ

□ 演劇/主催公演

30日(土) 13:00/19:00、31日(日) 13:00 ◆ 春秋座 特設客席

アーティスト・学生・地域の方で創る演劇公演

◎ 特集▶ P.05

藤田 貴大 演出作品 「A-S」

【5月24日(火) 発売・全席指定】

一般 3000円 友の会 2500円 学生 2000円

小学生以下 800円 ※未就学児の入場はご遠慮ください。

◆ 出演者オーディション、プロジェクトチームメンバー募集中

締め切り 4月30日(土) 詳細は劇場HPをご覧ください。

T-C OTS ぴあ e+ 生協

□ 講演・レクチャー

日本芸能史

15周年記念「日本芸能史の古代・中世と近世」前期

① 4月11日 「総論I」 講義

講師: 諏訪春雄
(比較芸能史研究)

② 4月18日 「警蹕
—春日若宮おん祭」 講義

講師: 今井祐次
(春日大社 禰宜)

③ 4月25日 「神楽」 実演

講師: 小林泰三
(石見神楽面師)

④ 5月9日 「御神楽—火焚祭」 実演

講師: 伏見稻荷大社
解説: 木戸敏郎

⑤ 5月16日 「舞楽
—四天王寺聖霊会」 実演

講師: 天王寺楽所雅亮会
解説: 木戸敏郎

⑥ 5月23日 「平曲」 実演

講師: 今井勉
(琵琶演奏家)

⑦ 5月30日 「琵琶」 実演

講師: 上原まり
(琵琶演奏家)

⑧ 6月6日 「能」 実演

講師: 大槻文藏(能楽師)
解説: 天野文雄

⑨ 6月13日 「狂言」 実演

講師: 茂山良暢
(狂言師)

⑩ 6月20日 「万歳—尾張万歳」 実演

講師: 北川幸太郎
(尾張万歳師)

⑪ 6月27日 「華道」 実演

講師: 池坊由紀
(華道家)

⑫ 7月4日 「茶道」 講義

講師: 筒井紘一
(茶道研究)

⑬ 7月11日 「能」 実演

講師: 片山九郎右衛門
(能楽師)

⑭ 7月18日 「壬生狂言」 実演

講師: 壬生大念仏講
解説: 八木聖弥

募集中!

【京都芸術劇場友の会 会員】

《京都芸術劇場友の会》では、劇場の活動をより知っていただくため、会員の皆様に公演の詳しい情報をいち早くお知らせし、また、チケット割引や先行販売を通じて、少しでも早く劇場をご利用いただけるようサービスを行っております。ご用意できる特典はささやかですが、多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

《会員特典》

- ① 情報誌「京都芸術劇場ニュースレター」(年3回)や公演チラシを定期的にお届け!
- ② 京都芸術劇場チケットセンター(窓口・電話・オンラインストア)で会員番号によるチケット予約、1公演お一人様2~4枚(公演により異なる)まで割引料金にて購入可能!(公演により、予約・割引のない場合、窓口・電話のみの対応の場合もございます。)
- ③ 当劇場主催公演など、会員限定の先行販売あり!
- ④ 春秋座、studio21で行われる公開講座、公開シンポジウムなどご案内!
- ⑤ 10年以上ご継続の会員様はプレミアム会員として、さらにお得な特典が受けられます。

《入会方法》 どちらかの方法をお選びください。【年会費 2000 円/有効期限・入会日より1年間】

1. 劇場チケットセンター窓口にてお申し込み(窓口受付/月~金 10~17時)

2. 郵便振替にてお申し込み

劇場郵便口座へ年会費 2000 円をお振込ください。

郵便局で青色の振込用紙にご記入ください。(振込み手数料別途 100 円程かかります。)

【口座番号】 00970-7-176517 【加入者名】 京都造形芸術大学 京都芸術劇場

【通信欄】 ①友の会 新規入会 ②お名前(フリガナ) ③生年月日 ④ FAX(あれば)

【ご依頼人】 お客様の住所・氏名・電話番号(わかりやすい字ではっきりとご記入ください。)

【オンライン会員】

登録無料! 24 時間ご予約可能! 選べる受取・お支払い方法!
公演情報をメールでお知らせ!

詳しくは、オンラインチケットストア(右記)へアクセス下さい。
(友の会にご入会いただくと、自動的にオンラインに登録いたします。)

「このすけ」をご存じですか?

京都芸術劇場市川猿之助芸術監督プログラムの宣伝活動をお手伝いしているキャラクター「このすけ」。京都造形芸術大学の学生によるコンペで猿之助さんに選ばれ、その後このすけと宣伝活動をする学生たちによる「このすけプロジェクト」が発足し、様々な企画を行っています。ぜひ「このすけ」の活躍にもご注目ください。



芸術監督プログラムサイトも活動中。
ここでも、このすけが活躍しています!
<http://www.k-pac.org/kantoku/>



誕生日: 5月11日
猿之助さんからキャラクター誕生が発表された日が2014年5月11日であることから

白狐の国生まれ

このすけ

好きな演目:
猿之助さんの『義経千本桜』!
好きな食べ物: おだんご

きらいなもの: だるま
追いかけられる怖い夢を
みたことからトラウマに

カーテンコール

今年度は京都芸術劇場がオープンして15周年目となる記念すべき年。巻頭では特別号を企画いたしました。いかがでしたでしょうか。Webでも記念サイトを開設し、ただ今、スペシャル対談なども企画中です! ぜひ、こちらら併せてご覧ください。【S】

チケットお問合せ先

京都芸術劇場チケットセンター

tel.075-791-8240

営業: 平日 10:00-17:00・公演開催日

京都造形芸術大学
舞台芸術研究センター

京都芸術劇場 春秋座・studio21

606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-116

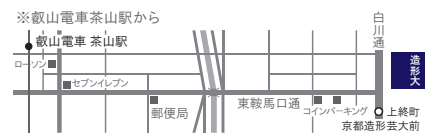
tel.075-791-9207 fax.075-791-9438

URL: <http://www.k-pac.org/>

E-mail: k-pac@kuad.kyoto-art.ac.jp

京都芸術劇場

検索



● JR・近鉄京都駅、京阪三条駅、阪急河原町駅から
京都市バス5号系統「岩倉」行き乗車、
「上終町・京都造形芸大前」下車
(京都駅から約50分、三条駅・河原町駅から約30分)

● 京都市営地下鉄丸太町駅・北大路駅から
京都市バス204号系統銀閣寺行に乗車(約15分)
「上終町・京都造形芸大前」下車

● 京阪電車出町柳駅から
叡山電車に乗り換え、茶山駅下車 徒歩約10分

※駐車場はございませんので、お車・バイクでの
ご来場はお断りします。
※所要時間はあくまで目安です。交通事情により
大きく変動します。

発行/編集

京都造形芸術大学
舞台芸術研究センター

デザイン 吉羽 一之 (シンプルホープ)

京都芸術劇場ニュースレター
vol.34 発行日—2016年4月1日